

[成果情報名] 極早生温州ミカン「おおいた早生」「豊福早生」「肥のあけぼの」「ゆら早生」の果実特性

[要約] 「おおいた早生」「豊福早生」は早熟性で、9月下旬～10月上旬が成熟期で品質も優れている。「ゆら早生」は成熟期が10月上旬～中旬で、果形は扁球形で果実はやや小さく糖度が高い。「肥のあけぼの」は成熟期が10月下旬以降で、果形は扁平で果皮色は橙色が濃く糖度が高い。

[キ - ワ - ド] 「おおいた早生」, 「豊福早生」, 「肥のあけぼの」, 「ゆら早生」, 成熟期、果皮色、糖度

[担当] 長崎果樹試・常緑果樹科

[連絡先] 電話0957-55-8740、電子メール takami@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 果樹

[分類] 指導

[背景・ねらい]

県内および県外の温州ミカンの有望系統について、本県への適応性を検討し、極早生系としては、外観が優れ高糖度で早熟に適する系統を選抜する。

新系統の来歴

系 統 名	来 歴
おおいた早生	今田温州珠心胚実生 (大分県)
豊福早生	大浦早生珠心胚実生 (熊本県)
ゆら早生	宮川早生枝変わり (和歌山県)

[成果の内容・特徴]

1. 「おおいた早生」は果形がやや扁平で、着色が早く、橙色が濃く、減酸が早いので成熟期は9月下旬～10月上旬で、「岩崎早生」と比べ糖度は同程度である (表1、図2、図3)。10月下旬まで樹上に成らせると浮き皮果の発生が多くなる (表2)。
2. 「豊福早生」は果形がやや扁平で、減酸が早く、9月下旬～10月上旬が成熟期で、「岩崎早生」に比べ糖度、酸含量に差はない (表1、図2、図3)。
3. 「ゆら早生」は果形が扁球形で、果実が小さく、減酸が早く、成熟期は10月上旬である (表1、図2)。「岩崎早生」に比べ糖度はやや高い傾向である (図1)。10月下旬まで樹上に成らせると浮き皮果の発生が多くなる (表2)。
4. 「肥のあけぼの」は果形が扁平で、減酸が遅く、成熟期は10月中旬以降である (図2)。10月下旬の果実は、橙色が濃く、「岩崎早生」に比べ糖度が高い傾向である (表2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 「豊福早生」「肥のあけぼの」は、熊本県が種苗登録の権利を有する品種である。
2. 「ゆら早生」は、樹勢が弱く、果実が小さくなりやすいので収量性が低いと思われる。

[具体的デ - タ]

表1 10月10~12日の果実特性

(2001~2003年)

品 種	1果平均重 (g)	果形指数	糖 度 (Brix)	酸含量 (g/100ml)	糖酸比	着色歩合	果皮色 ^z	浮き皮 ^y
おおいた早生	109.9a ^x	137.4bc	10.3	0.94ab	11.0ab	6.5	5.0a	4.5
豊福早生	107.1a	137.5bc	10.2	0.87b	11.9ab	5.1	2.9ab	0.0
ゆら早生	93.3b	124.1c	11.0	0.85b	12.9a	4.1	2.7b	0.0
肥のあけぼの	113.1a	142.0ab	10.5	1.01a	10.4b	5.7	4.5ab	0.0
岩崎早生	113.6a	135.4bc	9.8	0.89b	11.0ab	5.9	4.3ab	0.0
有意性	*	*	NS	*	*	NS	*	-

^z カラ - チャ - ト

^y 発生度 = (指数 × 発生果数) / (3 × 調査果数) × 100

^x 縦の異なる文字間に最小有意差法で有意差有り

表2 10月20~24日の果実特性

(2001~2003年)

品 種	1果平均重 (g)	果形指数	糖 度 (Brix)	酸含量 (g/100ml)	糖酸比	着色歩合	果皮色 ^z	浮き皮 ^y
おおいた早生	106.9ab	134.6a	10.8	0.82	13.5	8.9a	7.1ab	42.2
豊福早生	113.5a	137.7a	11.0	0.81	13.7	8.9a	6.4b	11.1
ゆら早生	91.2b	118.1b	11.1	0.75	14.5	6.9b	4.5c	31.1
肥のあけぼの	119.9a	140.8a	11.4	0.91	12.6	9.5a	7.9a	15.6
岩崎早生	111.4ab	140.0a	10.5	0.75	14.4	8.4a	7.5ab	44.4
有意性	*	*	NS	NS	NS	*	*	-

^z カラ - チャ - ト

^y 発生度 = (指数 × 発生果数) / (3 × 調査果数) × 100

^x 縦の異なる文字間に最小有意差法で5%レベルで有意差有り

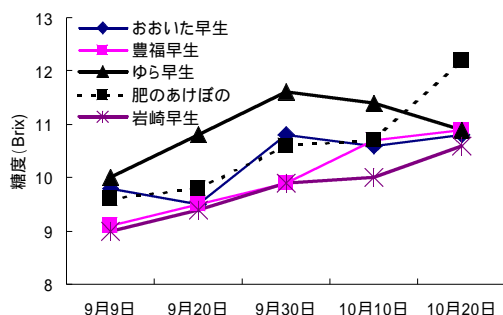


図1 糖度の推移

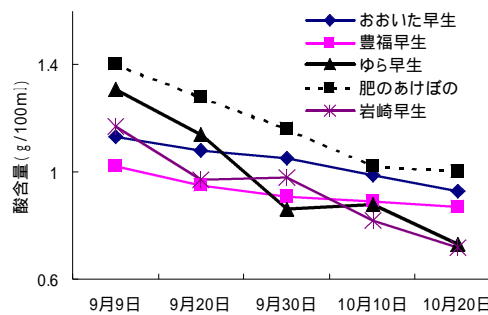


図2 酸含量の推移

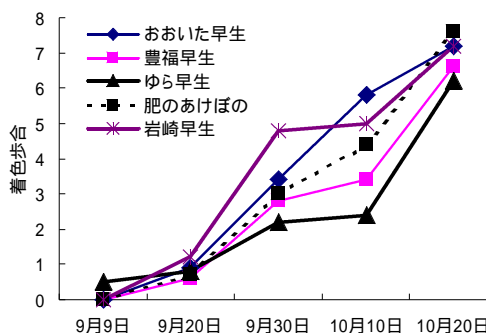


図3 着色歩合の推移

[その他]

研究課題名: 温州ミカンの新品種の適応性

予算区分: 県単

研究期間: 平成15年度(昭49~)

研究担当者: 高見寿隆、山下義昭

発表論文等: なし